

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 通学合宿 みんなで学ぶ『子ども村』
-------------------	--------------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出
小分類	1	自然環境運動の拠点づくりと人づくり
主要な施策	1	体験的自然環境学習の場の充実
事務事業番号	003	事務事業コード 22111003 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	通学合宿 みんなで学ぶ「子ども村」
------	------	------------	-------------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 小学生5～6年生
手 段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) ネイチャーセンター「ふおれすと鉱山」で支援ボランティアと生活をともにし、家事をはじめ自然体験や学習活動をしながら、学校へ通う「通学合宿」を実施する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の小学校を2地区に分け、前期(5～6月)後期(9～10月)1回につき4泊5日の日程で4回実施する。(学校とネイチャーセンター間の送迎は、バスを借上げる)</li> <li>・実施にあたり、実行委員会を組織し委託契約を締結することとし、モモンガクラブや婦人団体等のボランティアの宿泊などの協力を、また、後期(9～10月)には北海道教育大学の学生ボランティアの派遣により、事業を運営する。</li> <li>・参加者からは食事等の実費負担として参加料を徴収する。</li> </ul>
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 親元を離れて子ども達の手で共同生活をしながら学校に通い、子ども達の自主性・協調性や適応能力を伸ばし「生きる力」を身に付けさせるとともに、学年間交流や学校間交流を推進する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 通学合宿事業実施要領

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	参加者数(延べ)	人	目標値	80	100	100	100	100
			実績値	86	/	/	/	/
			目標値					
			実績値					

## 事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	1,058	1,060	1,060	1,060	1,060	3,180
合 計				1,058	1,060	1,060	1,060	1,060	3,180
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	3,142	1,531			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		3,142	1,531			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 参加した児童及び保護者からのアンケート調査の結果から、児童は有意義であり次回も参加したい、保護者は帰宅後に変化が見られたなど回答が得られ、事業実施の妥当性がある。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 今年度から、春と秋に分けて事業を実施するが、春の第1弾から子ども会等の指導者による宿泊及び学習メニューを依頼したところ、児童にも好評であり、職員の宿泊による人件費が削減された。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 秋の第2弾からは、北海道教育大学の学生ボランティアの派遣があり、学習メニューの拡充が図られる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 委託料の大半が、安全管理の報償費と児童送迎のバス運行であるため、経費の削減は難しい。

## 担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	家族生活から一定の期間離れて子どもたちの力で共同生活をしながら通学することにより、子どもたちの自主性・協調性や適応能力を養い、今後における家族生活や学校生活にさらには、「生きる力」を身に付けさせ、学年間・学校間交流の推進を図るうえで、事業の継続が望ましい。
----	----------------------	--

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）